

CHINA

福岡・大川家具工業会は東アジアをターゲットに販路拡大（展示会で通訳を介し海外バイヤーの質問に答える出展企業担当者等）＝9日付



福岡・大川家具工業会は東アジアをターゲットに販路拡大（展示会で通訳を介し海外バイヤーの質問に答える出展企業担当者等）＝9日付

ルシートで、高性能製品と普及モデルの中間に位置付ける中級価格帯で新製品を投入する。廉価版で攻勢をかける中国勢などに対抗する。（20面）

■消費物価、2.5%上昇
2年8カ月ぶり急伸／1月
1月の消費者物価指数は、前年同月比2.5%上昇。2014年5月以来2年8カ月ぶりの高い伸びを記録。個人消費が旺盛になる春節休暇が1月中に始まり、上昇幅が大きく。（時事＝2面）

■中国新車－6社が減少
日系1月／小型車減税縮小
日系自動車メーカー7社の1月の中国での新車販売は、ホンダを除き6社が前年同月割れとなった。春節休暇で営業日が減り、今年から小型車の減税幅の縮小が響いた。（7面）

■旭化成、中国化工と合併
車電部品向け樹脂
旭化成は、中国国有化学大手・中国化工集団の傘下企業と自動車電装部品などに使うエンジニアリング樹脂分野で提携する。中国に合併会社を8月設立する。（3面）

日産	ホンダ	トヨタ	マツダ	スズキ	三菱	富士重
119,411(▼6.2)	113,044(△5.3)	102,000(▼18.7)	24,994(▼3.7)	9,168(▼51.4)	8,145(▼6.3)	3,630(▼22.4)

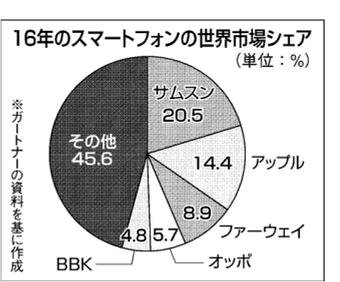
※単位台、カッコ内は前年同月比増減率%、▼はマイナス

■2月16日(木) □
■中国・メキシコに新工場
イリソ電子／車載コネクタ
イリソ電子工業は、車載用コネクタで、中国とメキシコに新工場を建設する。中国は江蘇省南通市に建設。一方のメキシコは、トランプ米大統領の動向をみながら慎重に検討。（7面）

■訪日外国人24%増
1月で最多／229万人
1月の訪日外国人は、前年同月に比べ24.0%増の229万5700人と、1月として最高を更新。春節休暇が1月末から始まり、単月としても2016年7月に迫る過去2番目の規模。（4面）

■工作機械－中国展の窓口に
日工会／日本企業とりまとめ
日本工作機械工業会は、11月に中国・重慶市で開かれる工作機械の国際見本市について、日本企業の出展のとりまとめを受託した。海外見本市の代理をするのは初めて。（11面）

■2月17日(金) □
■スマホ－中国勢が躍進
サムスン・アップル苦戦
2016年スマートフォン販売は、14億9535万台(5.0%増)。サムスン、アップルがシェアを落とした。3位の中国ファーウェイが販売27.6%増。中国のアップル、BBKがシェアアップ。（5面）



■中国・メキシコに新工場
イリソ電子／車載コネクタ
イリソ電子工業は、車載用コネクタで、中国とメキシコに新工場を建設する。中国は江蘇省南通市に建設。一方のメキシコは、トランプ米大統領の動向をみながら慎重に検討。（7面）

■2月20日(月) □
■車塗料原料－50%増産
旭化成／3万ト
旭化成は、中国で自動車塗料原料を増産する。江蘇省の工場は年産能力を2018年度に50%増の3万トに。約30億円投資。塗料の劣化や変形を抑える高機能品の需要が堅調。（11面）

■2月21日(火) □
■金型「電子カルテ」展開
KMC／中国・東南ア
KMCは、金型の使用履歴や工作機械の製造情報を管理できるシステム「電子カルテ」などを、中国や東南アジアで本格展開。日系企業や現地サプライヤーへの導入を進める。（8面）

■豪サザンクロス金山を買収
山東天業恒基
中国・山東天業恒基は、罕王実業の豪子会社ハンキング・ゴールド・マイニングから、サザンクロス金山を買収することで合意。買収額は3億3000万豪ドル。（時事＝13面）

■2月22日(水) □
■浙江吉利、提携を提案
マレーシア・プロトン
中国・浙江吉利控股集団が、マレーシア自動車メーカー・プロトンHDに戦略的提携に向けた提案の見直し。最新の自動車技術の一部を提供する方針を提案。（時事＝7面）

■人工透析システム、中国投入
東レ・メディカル
東レ・メディカルは、日本独自のセントラル方式人工透析システム（CD D S）で中国市場に本格参入を目指す。生活習慣の変化により中国で透析患者が急増。（13面）

■梱包材の浪費が深刻化
ネット通販・宅配・出前が急増
中国ではインターネットを介した通販、宅配、出前の拡大に伴い、梱包材

「中国・アジアダイジェスト」面
次回は3月20日に掲載します。

■2月23日(木) □
■本多通信、車載コネクタ増産
深圳工場にロボ／2000万台
本多通信工業は、車載機器向けコネクタの増産体制を整備。深圳市のコネクタ工場にロボット導入。自動化ノウハウをアジアの他工場にも。2020年に世界で2倍の2000万台。（10面）

■大型液晶の搬送装置を納入
淀川ヒューテック／中国大手向け
淀川ヒューテックは、中国の大手液晶パネルメーカーに大型液晶パネル用の搬送カセットを納入する。10.5世代の大型に対応。最大で20枚搬送。1年間で約1400台を供給する。（11面）

■2月24日(金) □
■ディープ学習データ7割削減
富士通研究所の中国拠点
富士通研究所の中国拠点は、AI搭載に向け、ディープラーニング用の教師データを大幅に減らす技術を開発。中国古文書の文字認識に使ったところ教師データを70%削減。（25面）

■病理標本作製機、中国など攻勢
サクラファインテック（7日11面）
■香港電燈向けGTCC発電受注
三菱日立PS（16日9面）
■輸出から投資・雇用へ
中国企業の対米戦略（17日7面）
■中国にパーキンソン病薬
エーザイ（21日12面）
■みずほ銀、雲南省と覚書
産業誘致を助言（23日23面）

ASIA

■2月6日(月) □
■スマートシティ、インド参入
パナソニック
パナソニックは、インドのスマートシティ（次世代環境都市）市場に参入した。2022年までに100カ所構築する同国の政策に呼応、セキュリティやエネルギー関連を供給。（3面）

■ミャンマーで日系の建設支援
技術者を派遣／関西SFなど
関西スチールフォームと泉商興業は、ミャンマー・ヤンゴンで、日系セネコンの建設を支援する。建設現場に日本人の有資格技術者を派遣、工事監理や現地の技能労働者の指導。（16面）

■ハラール国内食品、輸出支援
許可・販売先開拓／住商
住友商事は、「ハラール認証」を取得した国内食品の海外輸出支援を始める。輸出許可取得、販売先の開拓など。マレーシアへの輸出支援。将来はインドネシアなども展開。（16面）

■2月7日(火) □
■鈴与、インドで物流事業
適正在庫・調達に対応する倉庫
鈴与は、インドに現地法人を設立した。国際輸送・通関などの輸出入事業に加え、適正在在庫管理や調達物流に対応する倉庫事業、トラック事業などを成長続けるインドで展開。（3面）

■川重、タイで新ライン稼働
組み立て方でライン分ける
川崎重工業は、タイの2輪車生産子会社で新生産ラインを稼働した。欧州向け車種。組み立て方でラインを分けた。能力を増強し、作業を単純化して効率化を図った。（6面）

■サムスン、経済団体を脱退
グループ系列も続く
韓国サムスン電子は、経済団体の全国経済人連合会（全経連）に対し、脱退通告書を6日提出した。今後、サムスングループ系列社が相次いで退会するとみられる。（時事＝9面）

■台湾IC大手に設計ツール
NEC／設計期間の短縮
NECは、台湾・大手ファブレスIC企業・ファラデー・テクノロジーに設計ツール「サイバーワークベンチ」を提供した。ASICなどの回路を合成。設計期間を短縮。（10面）

■溶接ロボ技術者を育成
インドネシア／関連連
関西経済連合会は、インドネシアで、地元の溶接協会や金型工業会などとロボットを活用した溶接技術者の育成を始める。技術者養成を通じ同国産業の裾野を広げる。（27面）

■2月8日(水) □
■東芝メモリー、鴻海名乗り
半導体参入足がかり
東芝が、分社する半導体メモリー新

会社への入札が本格化。台湾・鴻海精密工業も名乗り。半導体への足がかりを得た。東芝の技術力の高さや魅力が浮き彫りに。（4面）

■ミスミ、ベトナム開拓
FA用機械部品／ECサイト
ミスミグループ本社は、FA用機械部品などでベトナムの開拓に乗り出す。現地向けの電子商取引サイトを公開する。電気・電子分野などで拡大が期待される。（8面）

■企業戦略部門を閉鎖
サムスン／大統領疑惑
韓国サムスングループは、特別検察による朴槿惠大統領に絡む疑惑の捜査が終了した時点で、グループの企業戦略部門を閉鎖する。捜査は28日に終了する予定。（時事＝10面）

■東洋紡、インドにエンブラ拠点
自動車向け
東洋紡は、インドに自動車向けエンジニアリングプラスチック事業の営業拠点となる現地法人を4月に設立する。デリー近郊グルガオン市。日系自動車メーカーから進出の要望。（12面）

■2月9日(木) □
■ジェイテクト、印社を子会社化
設計・調達・品質で一体化
ジェイテクトは、自動車用ステアリングを手がけるインドSKSSLを子会社化する。ハリヤナ州にも電動パワーステアリングなどの生産子会社。設計、調達、品質面で一体化。（6面）

■日本トムソン、ベトナム増強
直動案内機器／半導体製造装置用
日本トムソンは、半導体製造装置などに使われる直動案内機器の海外生産を拡充する。ベトナムの工場で熱処理設備を増設し、一貫生産体制を強化する。コスト低減、納期短縮。（7面）

■日本式介護－アジアに展開
知識・ノウハウ横展開
日本の介護サービスをアジアに展開する取り組みが始まる。企業や団体など約100社が協議会に参画。課題先進国・日本の知識・ノウハウを横展開、巨大な潜在市場を開拓。（11面）

■シスメックス、台湾で事業継承
検体検査製品
シスメックスは、台湾子会社が台湾代理店・三東機器股份有限公司から検体検査製品の販売、サービス、サポートの事業を譲り受ける。血球計数検査に加え免疫分野に展開。（11面）

■鉱山一半数に閉鎖命令
フィリピン政府
フィリピン政府は、環境対策のため23鉱山の閉鎖を命じた。主な対象はニッケル鉱山。国内の鉱山生産でほぼ半分。また、最大の金鉱山など5カ所の操業も停止を命令。（時事＝13面）

■住友鉱山、3子会社売却
台湾企業に／リードフレーム
住友金属鉱山は、リードフレーム生産子会社のうち3社を、台湾・昇霖科技股份有限公司に売却することで基本合意。中国企業の台頭などで競争が激

化、利益確保が難しいと判断。（13面）

■大川家具－東アジア開拓
展示会に海外バイヤー招致
福岡・大川家具工業会は、会員企業に対する海外取引支援を加速。日本製家具への関心が高まる東アジア圏に販路拡大を狙う。展示会に海外バイヤーを招致しPR。（27面）

■2月10日(金) □
■地域包括ケア－アジア展開
協議会が初会合
国際・アジア健康構想協議会が、第1回の協議会。官民連携のプラットフォームとして、アジアへの地域包括ケアシステムの展開や日本の介護事業者の進出促進を図る。（14面）

■2月14日(火) □
■ニプロ、ベトナム生産
透析用の血液回路／日本で需要
ニプロは、ベトナム・ホーチミン市に完全出資の医療機器製造子会社を設立した。日本で需要が増える透析用の血液回路など。総投資額は約339億円。輸液セットなども製造。（3面）

■パイロット養成支援
エアバス／シンガポール
エアバスが、アジア・太平洋地域の航空機需要拡大で予想されるパイロット不足対策。シンガポールに開設した飛行訓練施設が、フル稼働になる。航空会社28社と利用契約。（8面）



シンガポールの訓練設備（エアバス）

■NOx－インド・中東で増加
日米欧－減少／海洋機構
窒素酸化物の排出量が地球全体で大きく変動。海洋機構は、2005年からの10年間の窒素酸化物の排出量を算出。インドや中東で増加、欧米や日本などで減少。（28面）

■2月15日(水) □
■台湾に都市交通システム
川重／車両・信号など一括
川崎重工業は、台湾・台中市で都市交通システムを納入した。2020年開業



台中市メトロ緑線（川重）

「台中市メトロ緑線」向け。川重中心の企業共同体が、車両、電力、信号、基地設備などを一括供給。（3面）

■協和発酵バイオ、タイ倍増
アミノ酸／製造棟を新設
協和発酵バイオは、タイでアミノ酸の生産能力を倍増する。現地工場敷地に製造棟を新設。工業用を生産、現在は年産能力2200ト。新たに医療用の中間製品も作る。50億円投資。（1面）

■2月16日(木) □
■タイ－自由貿易を支持
TPP／推進を堅持
タイ政府は、経済戦略の一つとして、TPPを含めた経済協定の推進を堅持する方針を表明。「タイ第一ではなく、近隣国とともに成長する」（副首相）姿勢を強調。（2面）

■タイ－先端分野投資に税優遇
法人税15年免除／航空宇宙など
タイ政府は、先端分野の投資を呼び込むため、法人税免除を2倍引き最大15年にする新たな投資優遇制度。工業集積地のラヨン県。次世代自動車や航空宇宙、バイオ産業を育成。（2面）

■インド製薬、米に新工場
注射剤／トランプ関連
インド製薬オーロピンド・ファーマは、トランプ米大統領が製薬各社に国内生産拡大を呼び掛けた件に関連し、注射剤の工場を米国・ニュージャージー州に設ける計画。（時事＝16面）

■ベトナムで見本帳を製作
清水サンプル／機・壁紙40万冊
清水サンプルは、ベトナムで見本帳の製作を始めた。協力企業が清水サンプル向けに工場を増設し稼働した。機や壁紙などの見本帳を約40万冊、6月までに製作する。（32面）

■2月17日(金) □
■タイ政府、海外展開支援
現地企業・日系など外資も
タイ政府は、自国内に拠点を置く企業の海外展開支援に乗り出す。インドネシアやミャンマーに現地ビジネスを支援する事務所。現地企業だけでなく、日系など外資も支援。（1面）

■2月20日(月) □
■「ミラージュ」フィリピン生産
三菱自／6年20万台
三菱自動車は、フィリピンで小型セダン「ミラージュG4」の生産を始めた。5月からは小型車「ミラージュ」の生産も始め、6年で20万台以上生産する計画。（6面）

■2月21日(火) □
■バンドー化学インド工場移転
2輪車向け伝動ベルト
バンドー化学は、インド子会社の本社工場を移転する。現工場のIMTマネサル工業団地内の新工場に移転。2017年上期操業。2輪車向け伝動ベルトと関連製品。（8面）

■伊藤忠テクノ、新拠点
インドネシア
伊藤忠テクノソリューションズは、

インドネシアに営業拠点を開設する。IT需要の拡大が見込まれる同国で、現地企業のITインフラ構築関連の案件を振り起こす。（9面）

■中嶋悟チームに協賛
タタ・コンサル／全日本SF
インドのタタ・コンサルタンシー・サービスは、「全日本スーパーフォーミュラ選手権」で、中嶋悟氏が代表の「NAKAJIMA RACING」の冠スポンサーとして協賛。（9面）



インドのタタCSが中嶋悟氏のチームに協賛

■ヒロセ電機、韓国に新工場
スマホ用マイクロコネクタ
ヒロセ電機は、韓国でスマホ用マイクロコネクタの工場を建設し稼働を始めた。スマートフォン向けコネクタの需要が高まる中、生産能力を増強する。約60億円投資。（11面）

■鉱物一輸出税率7.5%
インドネシア
インドネシア財務省は、鉛や亜鉛、鉄、銅の精鉱（コンセントレート）を含む精錬中間生産物に適用する輸出税率を最高7.5%に設定した。（時事＝13面）

■ベトナム鋼板会社に出資
JFE商事
JFE商事は、ベトナムの鋼板製造会社・TDAに資本参加した。原板供給や製品販売で取引関係。冷延鋼板やメッキ鋼板、カラー鋼板などを製造。年産能力は約40万ト。（13面）

■2月22日(水) □
■台湾・TSMC、入札名乗り
東芝・メモリー新会社
東芝の半導体メモリー新会社の株式売却先入札に、半導体受託製業者の台湾・TSMCが名乗りを上げる見通し。入札にはメモリーの同業企業や米IT企業も関心。（1面）

■建機レンタル、アジア2拠点
アクティオ／比・越
アクティオは、アジアで建設機械のレンタルを拡大する。フィリピンとベトナムに現地法人を設立する。ミャンマーに新設した拠点も業務を始める。社会インフラの整備需要。（9面）

■ソニー、標準実装ライン投入
タイ・スマホ向け／横展開
ソニーは、一般消費者向けエレクトロニクス製品で、生産技術の標準化を加速。日本で高めた生産技術を海外の生産拠点へ横展開。タイにスマホ向けの標準実装ライン。（12面）

■インドに原料配合施設
三井化学SKCポリウレタン
三井化学SKCポリウレタンは、インド南部に自動車内装材など向けのポリウレタン原料を顧客の要求に応じて配合するシステムハウスを新設する。年産能力は1万3000ト。（13面）

■2月23日(木) □
■ヤマハ、海外2工場新設
インド／インドネシア
ヤマハは、インドネシアとインドに楽器や音響機器の新工場を建設する。2工場で100億円投資。中国ピアノ工場以来14年ぶり。電子ピアノやピアノ部品、アコースティックギター。（3面）

■昇降機の技術者教育施設
日立／タイに新設
日立製作所は、昇降機の技術者教育施設をタイに新設し運用を始めた。アジアにおける昇降機の施工・保全技術、安全管理に関して教育する中核拠点。まず180人。（11面）

■ベトナムでリース参入
三井住友信託
三井住友信託銀行は、ベトナムでリース事業を3月にも始める。国営大手・ベトナム投資開発銀行のリース子会社に49%出資。経済成長に伴う市場の拡大が見込まれている。（23面）

■2月24日(金) □
■タイ政府公認の技能評価に
ジェイテクト検定制度
ジェイテクトは、タイの生産会社で実施している技能検定制度が、タイ政府公認の技能評価システムとして運用されることになった。技能評価の講習に講師を派遣している。（6面）

■トラック隊列走行を実証
豊田通商／シンガポール
豊田通商は、シンガポールでの後続車無人型トラック隊列走行の実用化に向けた実証プロジェクトに参画する。二つの港湾間の約10キロ区間にトラック隊列走行導入を目指す。（6面）

■2月25日(土) □
■インドネシア現法、子会社化
ジャックス（9日21面）
■インドに250ccバイク
川重／新エンジン搭載（9日6面）
■恋愛ゲーム、韓国に投入
NTTソルマーレ（9日10面）
■テルモ、ヤンゴン拠点始動
人工肺・血液ポンプ（16日16面）
■日新製鋼、台湾で開業式
ステンレス精密圧延（21日13面）
■インドネシアに超高層ビル
清水建設／261.5m（21日14面）
■ラオス損保大手と提携
損保ジャパン日本興亜（21日19面）
■ミャンマーに農機販売
ヤンマー・三井物産（22日9面）
■富士通、ミャンマーで実証
灌漑用水の水位把握（23日11面）
■東洋エンジ、天然ガス設備受注
インドネシア（24日8面）